平成25年秋季・全国火災予防運動

11月9日から11月15日まで、

「消すまでは　心の警報　ONのまま」（全国統一防火標語）

を合言葉に、全国一斉・秋の火災予防運動が実施されました。

今年可茂消防管内では、火災が108件発生しており、うち八百津町内においては、6件の火災が発生しています。（10月15日現在）

これからの季節、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。火気を使用するときは、十分注意し、以下の事を守りましょう。

①寝タバコは、絶対やめる。

②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。

③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

地域ぐるみで守ろう　お年寄りと子ども
安全な場所・危ない場所を知ろう
地域安全マップづくり

□例えば、こんな場所を地図に記入してみましょう!!

○学校や市役所などの公共施設、交番や駐在所などの警察施設
○「子ども110番の家」として活動しているお店や住宅
○よく遊びに行く友人の家や公園
○人通りの多い道、街灯が整備されている道
○ガソリンスタンド、病院、銀行、郵便局など目印になる施設やお店
●自分が（友人が）怖い目に遭った場所
（変な人に声を掛けられた、ひったくりに遭った、交通事故に遭いそうになった…など）
●壁やシャッターに落書きがしてあったり、ゴミが散らかっている場所
●人通りの少ない道、街灯が少なく、夜は暗い道
●ひとけの少ない場所や建物
●見通しの悪い公園や道路

地域安全マップを作成することにより、自分の住むまちのいろいろな場所を見直すことができます。

地域安全マップは、作成することはもちろんですが、作成するその過程にも大きな効果があるといわれています。

マップ作成の過程で、地域のさまざまな場所を歩き、多くの方々と出会い、みんなで自分たちの住む地域のことを考え、話し合うことで、地域みんなで協力してまちづくりを推進する、ひとつのきっかけにもなるのではないでしょうか。

地域で、学校で、ご家庭で、地域安全マップについての取り組みをはじめてみませんか。